



# 家庭教育 サポート企業 だより

発行 平成21年 7月27日 No.8  
北海道教育庁生涯学習推進局生涯学習課

みんなで  
応援しよう 家庭教育

## 目次

この人に聞く 株式会社ニチレイフーズ森工場 安居 之雅さん	P1
地域からのおたより 後志管内古平町 社会福祉法人古平福祉会	P2
根室管内根室市 株式会社すずき	P2
胆振管内洞爺湖町 社会福祉法人幸清会	P3
空知管内根室市 株式会社櫻井組	P3
トピックス1「東西南北」 生活リズムの改善と地域の役割を考える 檜山教育局社会教育指導班	P4
トピックス2「情報館」 働く姿を見てみたい！ 早起き・職場見学デーのススメ 十勝教育局社会教育指導班	P5

## この人に聞く

株式会社ニチレイフーズ森工場 工場長 安居 之雅さん

渡島管内にある「株式会社ニチレイフーズ森工場」 工場長の安居 之雅さんにお話を伺いました。

### 家庭教育サポート企業として、どのような取組をされていますか？

従業員の子どもや地域の子どもを工場に招いて、工場見学やコロッケづくり体験を行っています。また、今年度は新たな取組として、森少年自然の家の「こどもの日まつり」において、コロッケづくりの出前教室を行いました。当日は道内各地からたくさんのお客さんが訪れ、私どものコロッケづくり体験コーナーにも約250組の親子が参加し、大変好評でした。



株式会社ニチレイフーズ森工場  
工場長 安居 之雅さん

### 活動を通して、どのような効果がありましたか？

コロッケづくり体験は、ジャガイモをゆでてつぶすところから始めています。冬でも汗をかく作業ですが、このような一つ一つのプロセスを体験してもらうことで、子どもたちに食育の基本となる「つくること」、「食べること」の楽しさを知ってもらいたいと考えています。

従業員の子どもを対象とした工場見学は、家族や従業員の働く姿から、働くことの大切さを理解してもらうことを目的に行っています。普段、自分の家族の働く姿を目にする機会はなかなかないと思います。このような取組を通し、家族の仕事を理解し、働くことの大切さ、楽しさ、また、信頼感、責任感、そして協力、情熱など、人が社会で生きていくために必要なことを感じ取ってもらえればと考えています。また、私を含め従業員全員、子どもたちが見学に来る日は、「子どもたちに胸を張って対応できるよう、より一層頑張ろう。」という気持ちになります。このような日々の積み重ねが、より良い企業になるための糧となっています。

### 今後どのような活動に取り組みたいですか？

今年9月、地元森中学校の生徒を対象に、2日間、職場体験の受入れを行う予定です。これまでの工場見学の取組を一步進め、学年に応じたプログラムを充実させていきたいと考えています。

### 家庭教育の充実に向けて一言お願いします。

今年3月、函館市内のスーパーとの共催で「コロッケができるまで体験！キッズツアー」と題し、近郊の親子を対象に、工場見学とコロッケづくり体験を行いました。

親子で力を合わせてつくった揚げたてのコロッケを笑顔で頬張る姿は大変微笑ましいものでした。このような親子の姿が各家庭のキッチンへさらに広がるよう、当社ならではの食に関する取組を今後も企画し、この森町から発信していきたいと考えています。



ネイバル森こどもの日まつりへ協力



**社会福祉法人 古平福祉会** (古平郡古平町大字歌葉町204番地9)

従業員数 127名  
協定締結日 平成20年4月30日  
取組内容 「道民家庭の日」等の普及  
学校行事への参加促進



ポスター掲示による普及

地域のごみ拾い活動に参加



社会福祉法人古平福祉会は、昭和56(1981)年の国際障害者年と軌を一にして開設した知的障害者更生施設「共働の家」に始まり、利用者とその家族、そして職員等が一体となって、暮らしやすい地域を目指しながら、環境整備を進めてきました。現在では、多様な福祉サービスを一体的に提供する一体型事業所「れい明の里」として運営を行っています。

平成17年度には、利用者とともに親子総出で地域の海水浴場と町営墓地の清掃ボランティアを行うなどの地道な取組が認められ、環境大臣表彰を受賞しました。この取組は現在も続けられています。同法人は「愛誠奉仕」の三信条をモットーに、親子で行う活動を通し、地域の子どもの健全育成のため、今後も継続的な活動に取り組んでいきます。

<施設長 青柳 修平 さんのお話>

古平福祉会では、職員に対して学校や地域の行事に積極的に参加するよう呼びかけています。また、休暇等の取得にも配慮しており、先日、小学校の運動会が雨で延期になり平日の開催となりましたが、子どもを持つ職員は、子どもたちのがんばっている姿を応援に行くことができました。

また、古平福祉会として地域行事にも積極的に参加しており、「仕事中の職員も子どもと一緒に地域行事に参加できる」、そのような職場づくりを心がけています。

**株式会社すずき** (根室市大正1丁目32-3)

従業員数 20名  
協定締結日 平成21年5月8日  
取組内容 職場見学や職場体験の実施  
学校行事への参加促進

株式会社すずきは、これまで中学生の職場体験などを受け入れる取組を行ってきており、今後も様々な実践を進めていきたいという思いから、本年の5月に北海道サポート企業等制度の協定を締結しました。

今年1月に実施した職場体験では、中学生2名が、店内の清掃や陳列されている商品の整頓、荷物の搬入・搬出などの業務を通して働くことの意義や楽しさを体験しました。また、店のスタッフが明るく親切に接客する様子を目の当たりにし、その姿から多くのことを学びました。

今後はサポート企業の一員として、職場体験等の学習活動支援や子育て中の従業員が家庭生活を大事にしながら働くことのできる職場環境の充実に取り組む予定です。

<代表取締役 鈴木 新一 さんのお話>

本年5月に、自分の所属する「ネムロアカデミークラブ」がクラシックコンサートを主催して市内の小中学生を招待するなど、根室の子どもたちの成長を応援する活動にも取り組みました。今後も、個人としても会社ぐるみでも、豊かな地域づくりを目指し、様々な地域貢献活動に取り組んでいきます。



中学生の職場体験の様子。商品の整頓や清掃等を体験



会社ぐるみで豊かな地域づくりをめざす鈴木代表取締役





**社会福祉法人 幸清会**（洞爺湖町洞爺湖温泉町190番地3）

従業員数 約500名  
協定締結日 平成21年 3月30日  
取組内容 職場見学や職場体験の実施  
「道民家庭の日」等の普及

社会福祉法人幸清会は「穏やかで、楽しい、尊厳ある生活を保障する その人らしい当たり前の生活を保障する」をキャッチフレーズに、老人福祉・介護に取り組む介護老人福祉施設等を運営しています。私たちは「子どもたちとの触れ合いは、とても大切なこと」との考えのもと、子どもたちとの農作業体験やクリスマス行事等における交流会、職場見学や職場体験の受け入れ、小学校の総合的な学習の時間等での福祉学習への協力など、本法人の特色を生かした様々な活動を通して、地域の子どもたちと触れ合う活動を行っています。

また、「道民家庭の日」や「北海道教育の日」、「早寝早起き朝ごはん」運動等についても、施設内にチラシやパンフレットを設置したり、ポスターを掲載するなどして、普及に努めていきたいと思ひます。

はじめまして！  
**新企業です！**



幼稚園とのイモ掘り体験

小学校の授業での認知症についての学習会



**株式会社 櫻井組**（空知郡奈井江町字奈井江569-1）

従業員数 28名  
協定締結日 平成21年2月27日  
取組内容 地域行事への協力・支援  
生活リズム向上の取組

ユニークな  
取組紹介

地域行事に積極的に参加しています。

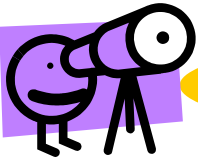


家族の親睦も深めています。

櫻井組では、奈井江町産業まつりの中で、準備から後片付けへの協力はもとより、空中作業車の試乗といったユニークな取組や遊び心を取り入れたコーナーを設けるなど、地域の方々との交流を深めることを大切にしながら協力しています。まつりの会場では、社員の皆さんが持ち寄った品々を販売するフリーマーケットや空知特産品の販売を行い、ここで得た利益の全てを社会福祉協議会に寄付をしています。

このことから、同協議会から感謝状が贈られるなど、地域に密着した取組に大きな期待が寄せられています。

また、同社では社員の親睦と健康増進を図るため、平成19年度から札幌市のモエレ沼公園で開催される「HOKKAIDO ママチャリ耐久リレー大会」に参加しています。今年度は、「北海道家庭教育サポート企業」の協定締結を記念して、社員の子もチームも参加したところ、大健闘の3位に入賞し、見事、表彰台に立つことができました。一般参加のお父さんチーム（株）櫻井組XC（クロスカントリー同好会）の入賞はありませんでしたが、親子揃って気持ちのいい汗をかいた後には、参加者で食事をとりながら一日の疲れを癒し、家族間の交流を深めました。



# 生活リズムの改善と地域の役割を考える

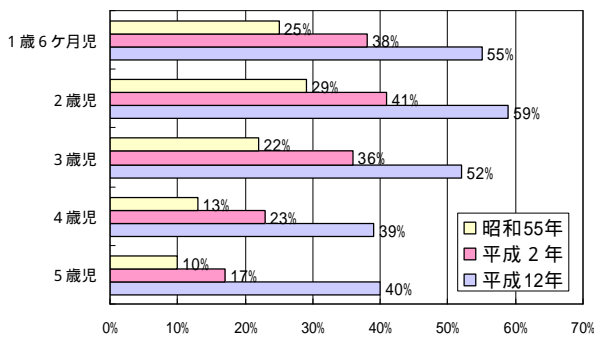
子どもの生活リズムの乱れが学力・体力の低下に結びついているとの指摘があることをご存知ですか。下のグラフは、未就学児の就寝時刻と小中学生の朝食摂取の割合を調査したものです。

子どもたちの生活リズムを向上させ、健康に日々を過ごさせるためには、第一に、家庭における保護者の意識や生活スタイルを改善することが大切です。また、地域の方々の協力や幼稚園・小中学校との連携により、より効果を上げることが期待できます。

子どもたちが地域や幼稚園・小中学校とのつながりを持ちながら社会生活をするにより、家庭での生活が規則正しくなり、子どもの生活リズムも向上するともいわれています。

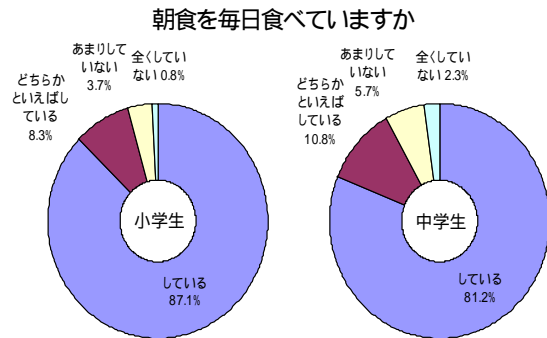
もう一度、私たち大人自身が自分の生き方を見つめ直し、子どもを取り巻く環境について真剣に考え、地域ぐるみで子どもの生活リズム向上に取り組んでいく必要があります。

就寝時刻 22 時以降の割合



【幼児健康度調査報告書（社）日本小児保健協会より】

朝食摂取の割合



【平成20年度全国学力・学習状況調査（文部科学省）より】

## 早寝早起き朝ごはん運動

北海道教育委員会では、平成19年度から、「朝食をとらずに登校する子をゼロに」を目標に掲げ、学校・家庭・地域の多くの団体や企業と連携した、「早寝早起き朝ごはん」運動に取り組んでおります。

本年度も、生活リズムが乱れがちな7～8月の夏休み期間を中心に啓発強化期間を設定し、普及啓発に取り組んでいます。

サポート企業の関係者の皆様には、これまでも「子どもたちの生活リズム改善」のための取組について様々なご支援をいただいておりますが、引き続き、ご協力いただきますようお願いいたします。

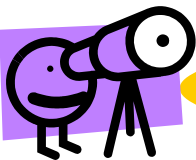


## 子どもの生活習慣づくりフォーラムinほっかいどう

子どもの望ましい生活習慣が確立されるよう、学校・家庭・地域・そして企業が一体となった地域ぐるみの取組を推進するため、「子どもの生活習慣づくりフォーラムinほっかいどう」を開催します。この取組は、プレフォーラムとメインフォーラムを含めて、道北、道南、道央、道東の4会場での実施となっており、プレフォーラムの道東会場では、指定管理者がサポート企業でもある「ネイパル足寄」を会場に十勝管内のサポート企業の協力を得ながら開催されます。メインフォーラムは、平成22年1月24日（日）北海道大学クラーク会館での開催です。詳しくは、今後改めて連絡いたします。皆様方のご協力をお願いします。







# 働く姿を見てみたい！ ～昼間のパパ&ママは、ちょっとちがう～

## 早起き・職場見学デーのススメ

北海道教育委員会では、子どもたちの夏休み期間中に、職員の子どもの対象に職場見学を実施しています。子どもたちを職場に招き、お父さん、お母さんが働いている姿を見てもらったり、施設を見学してもらうことも、家庭教育を支援する大事な取組の一つです。



こんな場所で働いているんだ～（昨年の様子）

## 早起き・職場見学デーのねらい

「早寝早起き朝ごはん」運動啓発強化期間に併せ、夏休みの早朝から実施することで、子どもたちの生活リズム向上に努めます。

子どもたちにとっても、「早起き・職場見学デー」に参加することで普段見られない親の姿を見ることができ、親のことを一層理解することができます。また、仕事について語り合うことで、親子の対話やコミュニケーションを深めるきっかけとなります。

## 早起き・職場見学デーの様子

昨年、北海道教育委員会で行った「早起き・職場見学デー」は、親子で一緒に出勤し「どんな仕事をしているのか」「どんなところで仕事しているのか」などを見学した後、北海道教育委員会（本庁）・空知教育局・網走教育局・十勝教育局を結ぶテレビ会議で、全道の小学生と交流を図りました。

午前で終了し、お父さんやお母さんは、休みをとって一緒に帰宅し、午後は親子の触れ合いのひとときとしました。



どんな仕事をしているの？（昨年の様子）

十勝管内のサポート企業からは、今年的大型連休中に職場見学を実施したとの情報もいただきました。サポート企業の皆さんの会社でも、できることから取り組んでみてはいかがでしょうか。

毎月第三日曜日開催の家庭の日



## 「道民家庭の日」絵画コンクール2009作品募集

財団法人北海道青少年育成協会では、「道民家庭の日」の普及啓発を図るため、家庭や親子のふれあい、地域の人々との交流をテーマにした絵画を募集しています。詳細は下記ホームページをご参照ください。

<http://www.ikuseikyo.jp/>

## サポート企業だよりについてのご意見

（こういう話題も掲載してほしい...）のご感想をお寄せください。（連絡先）北海道教育庁生涯学習課 担当 三國

011-231-4111（内線35-522）

[kyoiku.seigaku1@pref.hokkaido.lg.jp](mailto:kyoiku.seigaku1@pref.hokkaido.lg.jp)